

HOYOG

教区新報

THE KENNYO-SHONIN
BIG FESTA 500

発行所 浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
(編集)教区基推委広報部

1997. 2 .110号



あったかいおぜんざいの接待

員で「み仏にいだかれて」を斉唱し法要を終了した。灘区篠原中町仮設住宅から参拝してくれた九人は、「八甲庵からのご縁で参拝させてもらいました。仮設は一人暮らしが多く、この先どうなるか心配ですが、今はみんなの輪ができています。お参りしてよかったです。」と、また震災後、浄行寺(神戸西組)さんに二ヶ月避難生活を送られた岩城嘉子さんは「避難させていただいたご縁で今日お参りさせてもらいました。がんばるしかないと思っ

「こんないいな」一声で数百万円単位ではね上がった。直面している私共にとってどこまで機能と感性を両立させることができるのだろうか。(岩田教證)

一月十九日午後二時、神戸別院三階の本堂で、遺族や僧侶二百人の参拝のなか、本願寺から松村了昌総長、北島経昭総務や小原敦美宗会副議長、近畿各教区教務

の僧侶の出動をいただき、被災十一組から三十七人の僧侶の参列をいただき、阪神・淡路大震災物故者三回忌追悼法要がしめやかに執り行われた。

法要終了後、一階のホールで教区仏協連盟、東京教区青年僧侶協議会、復興支援の会の方々のお世話でおぜんざいなどの接待があり参拝者の心も身体もしばしほころんだ。

また、一階ロビーでは神戸新聞社や被災寺院の協力を得た写真パネル展が行われ、参拝者は震災後一年経った今もなお、鮮明に記憶が戻り、悲惨さに涙しながらもこの震災を忘れず、そしてボランティアのありがたさや人のあたたかさの大切さをあらためて確認していた。

みんなの輪ができる

大震災の三回忌追悼法要

教区だより		2・3月	
15日(土)~16日(日)	別院常例法座 藤本 唯成師	1時半	
18日(火)	蓮如上人500回遠忌法要・第2回御同朋総結集大会企画委員会	10時半	
19日(水)~20日(木)	門徒総代会一泊研修会	別院	
19日(水)	仏協常任委員会	10時半	
21日(金)~22日(土)	矯正大阪管区一泊研修会	鷺森別院・和歌山刑務所	
23日(日)	第25回門徒推進員研修会	姫路中組・真宗寺	
24日(月)	教区布教団基幹運動研修会	1時半	
25日(火)~26日(水)	寺婦研修旅行	和歌山	
26日(水)	保育理事会・研修委員会	3時	
27日(木)	姫路ブロック六組ご消息披露	花田スポーツセンター	2時
	ピハハラ兵庫研修会		
28日(金)	社推協兵庫支部研修会	1時	
3月1日(土)	第一土曜仏教講座 藤原 真哲師	1時半	
1日(土)~2日(日)	仏社一泊研修会		大谷本廟
3日(月)	門推幹事会(実行委員会)	10時半	
4日(火)	研修指導部会	3時	
6日(木)	社会教化推進委員会	10時半	
	広報部会	3時	
	第7回青年教化指導員会議		本山
7日(金)~8日(土)	豊岡教堂永代経法要		豊岡教堂
11日(火)	連研のための研究会	10時半	
14日(金)	教区基幹運動推進委員会総会	10時半	
15日(土)~16日(日)	別院常例法座 鹿多 証道師	1時半	

ご門徒へ お彼岸の「法」を

年三回(お盆・報恩講・春彼岸)発行しております。「法」シリーズ。今回は川端正道師(岡山北組報恩寺住職)にご執筆いただき、春彼岸号を作製しました。一部見本に同封しますので是非ともご門徒向けの文書伝道としてご利用ください。今回も一部二十円(送料実費)で、百部以上の場合には寺号を無料で印刷します。なお、寺号印刷は十日ほど日数を要しますので、お早めにお申し込みください。

神明組に新寺の光源寺編入

このたび、平成八年十二月二十七日をもって、光源寺寺院設立につき、神明組に編入されました。

一、名称 宗教法人「光源寺」三所在地 〒651-21 神戸市西区池上二丁目三十六番十一 三、住職名 宮里俊哲 四、寺院番号 18-110-22番 兵庫教区神明組光源寺

新年度は聞法会館で 門徒推進員の中央教修

平成九年度の門徒推進員中央教修の開催要項が決まりました。今まで大谷本廟を会場に第百十八回まで開催されてきましたが、第百十九回から、本願寺北境内地に三月末完成予定の「本願寺聞法会館」で開催されることになりました。

中央教修の開催期間は、次の通りです。

- 第百十九回(受付締切) 5/24(土)~5/27(火)
- 第百二十回 7/4(金)~7/7(月)
- 第百二十一回 9/13(土)~9/16(火)
- 第百二十二回 10/10(金)~10/13(月)
- 第百二十三回 11/15(土)~11/18(火)
- 第百二十四回 2/7(土)~2/10(火)

仏青が3月にスキーツアー

仏青連盟(別所麻美委員長)では、「97スプリングSKIツアー」を三月二十四日(月)から二十六日(水)まで二泊三日で、長野の杵池(つがいけ)高原で開催するため参加募集

建設意志進納総額 二十二億四千八百九十万六千八百円。(97年1月31日現在)

敬弔

善藤延雄師(よしふじ・のおお)城崎組運成寺衆徒の往生。葬儀は一月二日、愛知県津島市の自宅。「自然院釋延雄」。

植木藤雄師(うえき・ふじお)神戸東組西念寺衆徒の往生。葬儀は一月二十四日、本市の自宅。「寶樹院釋藤雄」。

林田憲徳師(はやしだ・けん)とく神崎組正福寺住職。一月三十日、八十一才で往生。葬儀は二月一日、正福寺で。「浄正院釋憲徳」昭和二十六年から住職在職四十五年。本願寺派布教使。岩田桂月師(いわた・けい)二月十日、八十八才で往生。葬儀は二月十二日、浄福寺で。「横超院釋桂月」昭和二十四年より平成元年まで住職在職四十年。昭和五十二年より同五十六年まで副組長。本願寺派布教使。



震災からはや二年。「自宅の再建」と57%、20%は今後も不可

城崎組二ヶ寺地域に

重油被害 教区から見舞い

このたびの日本海で沈没したタンカーの重油流出事故に伴う重油の漂着被災は山陰から北陸、東北へと広がり、東北、国府、新潟、石川、福井、京都、兵庫の各教区に及んでいます。当教区では、城崎組の日本海沿岸の数ヶ寺の所在地域が心配されますが、直接寺院や門徒が被災されている報告はいただいたのは、光永寺（藤澤大紀住職）と照満寺（善井信明住職）です。突然の豪雪に襲われた一



回収された重油



厳寒の中の回収作業

がある。重油除去作業は、漂着が認められた日の朝に天候を見定めて動員がかかる。そのため、必要な救済物資を特定できない。等々困難な状況です。そんな中お届けしたゴム手袋のサイズは作業に役立ったとの声をお聞きしました。教区としては、早急に兵庫教区地方災害対策委員会を開き、対応を相談し今後の取り組みに臨むこととなります。

——義援金受付口座——
 国府教区 ①郵便貯金総合口座 11250119167401「国府教区重油流出災害対策」②第四銀行直江津西支店普通預金 52311228736

「国府教区重油流出災害対策」
 高岡教区 郵便振替 0076019137471
 「高岡教区災害対策委員会」
 石川教区 郵便振替 0072019136542
 「災害義援金」
 福井教区 福井銀行松本支店 10611080796
 「福井教区教務所義援金」
 京都教区 郵便貯金総合口座 1444018978371
 「京都教区重油災害義援金」
 兵庫教区 義援金窓口の開設を準備しています。皆様のご協力をお願いします。

三回忌法要にお参りして

高砂組教徳寺坊守 辻 岡 武子



当日、午後二時少し前に別院到着。総長様はじめ近畿各教区教務所長様のご臨席をいただき、二百人の参拝者の中、定刻になった。広い本堂が静寂し、高橋御輪番様の御導師で、三奉請、正信偈のおつとめが始まり、「帰命無量寿如来、南無不可思議光……」読経の中、次々にお焼香に出られるお一人おひとりの胸の内はどんな思いかと涙したことでした。

総長様のご挨拶に、三回忌を迎えられ本願寺関係また全国の皆様もご心配申し上げています。どうぞ頑張ってくださいと暖かいお言葉がともありがたかったことでした。

震度七の激震。六千五百人を超える多くの尊い命が失われました。あれから二年の歳月が流れ、あ

念講演の後は、特に子どもたちに歌ってほしい仏教讃歌を毎回、釋氏清子先生（阪神西組源光寺・まこと幼稚園）に指導を願っている。先生は、「こどものはなまつり」「成道会のはなまつり」「のんのさま」を参加者五十名をうまくリズムにのせながら、終始にこやかに指導された。「仏教讃歌ってこんなに沢山あるんですね。」と北村麻紀さん（誠佛保育園保母）は、驚いていた。

研修会終了後、一階ホールで、両先生を囲んで神戸ワインと食事を楽しみ、充実した研修懇談会を終えた。

保育連盟がロス訪問

HO日誌

◆1月1日別院元旦会◆
 7日大阪教区石川南組光福寺より別院に団体参拝◆
 8日別院・教務所事務開始式◆11日播磨中組総代会より別院に団体参拝◆須磨ノ浦女子高等学校の校舎竣工式に高橋所長が出席。終了後祝賀会◆12日第45回本山成人式◆13日復興支援の会を別院で◆15日別院常例法座。講師は村井丹師（高砂組蓮教寺）◆17日仏婦委員総会を別院で。終了後、新年懇親会を市内の料亭太閣で◆18日回兵庫集会所が神戸・西山記念会館で。教区から高崎正英師（神崎組浄光寺）寺本峰昭師（神崎組真栄寺）担当者が参加◆19日阪神・淡路大震災物故者三回忌総追悼法要を別院で。導師は高橋廣爾輪番。松村了昌総長が臨席され挨拶。講師は久堀弘義師（教区基幹運動推進委員会副会長・神戸湊組行願寺）◆20日別院仏婦報恩講。講師は高橋廣爾



リトルスクーラー（保育園）の子どもたち

輪番◆須磨ノ浦女子高等学校の尚風館起工式に高橋所長が出席◆門推幹事を別院で。結成十周年記念行事の総務部会、企画部会、編集部会、財務部会◆十方会の総会が別院で。終了後の懇親会に高橋所長、安井担当者が出席◆復興支援の会を別院で◆21日日本海重油流出事故調査に高橋所長と赤松賛事がゴム手袋、長靴、軍手を持参して城崎組（藤澤大紀組長）を訪問◆22日連研推進委員会を別院で◆23日少年役員会を別院で◆24日基推委企画常任委員会を別院で◆25日第二回まことの保育研修懇談会を別院で。講師は亀井一成先生（学芸員・神戸市公園緑化協会動物園事業部）◆25日〜30日保育連盟ロサンゼルス別院参拝・ラスベガス保育事情視察研修団がロサンゼルスへ。参加者は末永常信（誠佛保育園）末永泰子（同）井村智眼（真浄寺保育園）波多正宣（慈愛保育園）◆25日〜26日第三連区門徒推進員研修協議会が津村別院で。講師は梯實圓師（大阪教区阿倍野組広台寺）露の新治師（落語家）教区から60名参加◆27日江並教堂参勤の故井上法順師の葬儀が江並教堂で高橋輪番執行◆復興支援の会を別院で◆28日寺婦委員総会を別院で。終了後新年懇談会を市内の料亭秋で◆30日ビハラ兵庫役員会を別院で◆30日〜31日保育評議員会が本山で筑波亮英理事長（姫路西組真教寺・宝国幼稚園）が出席◆31日近畿ブロック保育連絡協議会が本山で。筑波理

談会を別院で。講師は亀井一成先生（学芸員・神戸市公園緑化協会動物園事業部）◆25日〜30日保育連盟ロサンゼルス別院参拝・ラスベガス保育事情視察研修団がロサンゼルスへ。参加者は末永常信（誠佛保育園）末永泰子（同）井村智眼（真浄寺保育園）波多正宣（慈愛保育園）◆25日〜26日第三連区門徒推進員研修協議会が津村別院で。講師は梯實圓師（大阪教区阿倍野組広台寺）露の新治師（落語家）教区から60名参加◆27日江並教堂参勤の故井上法順師の葬儀が江並教堂で高橋輪番執行◆復興支援の会を別院で◆28日寺婦委員総会を別院で。終了後新年懇談会を市内の料亭秋で◆30日ビハラ兵庫役員会を別院で◆30日〜31日保育評議員会が本山で筑波亮英理事長（姫路西組真教寺・宝国幼稚園）が出席◆31日近畿ブロック保育連絡協議会が本山で。筑波理

「あのね、動物家族」

まことの保育研修懇談会

保育連盟（筑波亮英理事長）が、兵庫教区教化センターを会場に第二回まことの保育研修懇談会を開催した。この研修懇談会は、昨年度から、教区内三十九ヶ園の保育園・幼稚園に呼びかけて、保育者として、自己研鑽と「まことの保育」推進の素養を深めるため、研修と親睦を図ることを目標に年一回の研修をしている。

今回は、亀井一成先生（学芸員・神戸市公園緑化協会動物園事業部）も動物相談担当を迎え、テーマを「あのね、動物家族はねー地震に耐えて」として亀井先生が神戸王子動物園の飼育係四十年、鉄格子を通して出会った動物たち、ゾウ、カバ、サイ、トラ、ライオンそしてチンパンジー

にオランウータンが一生懸命生きていく姿を母親代わりの飼育係の人生論にスライドを交えユーモラスに話してくださいました。

特に、赤ん坊チンパンジーのチェリーちゃんやシンチャを自宅に引き取り、人間の子育てと全く同じように育てられた体験談は、聞く者にとって深い感動を与えた。日頃幼児と接している保育園・幼稚園の先生として先生の「飼育タプー訓」は大いに参考になったようだ。

「飼育タプー訓」は、黙らず、語りかけ飼育。正前から同じ服装で、同じ扉から入ろう。いつも穏やか、感情だすな。殴るな、撫でてやろう。序列がつけられてやる。困っている時こそ行ってやろう。新人が、よくアタックされる。素通りするな、少しでも寄ってやる。等で、九十分の時間がアツというまに過ぎてしまった。

王子動物園では、「もしもし動物くん 078188118102」のテレビホンサービスで、動物の鳴き声が聞ける。子どもたちの質問に答える形で、珍しい動物の鳴き声に会うことができる。

記念講演の後は、特に子どもたちに歌ってほしい仏教讃歌を毎回、釋氏清子先生（阪神西組源光寺・まこと幼稚園）に指導を願っている。先生は、「こどものはなまつり」「成道会のはなまつり」「のんのさま」を参加者五十名をうまくリズムにのせながら、終始にこやかに指導された。「仏教讃歌ってこんなに沢山あるんですね。」と北村麻紀さん（誠佛保育園保母）は、驚いていた。

研修会終了後、一階ホールで、両先生を囲んで神戸ワインと食事を楽しみ、充実した研修懇談会を終えた。

「納骨所」残りわずか

別院の納骨所は、特別区画が十五基と特別壇（小型区画）が百七十八基を残すのみとなりました。お早めのお申し込みをご案内いたします。

使用懇志額は、特別区画一基三百六十万円以上（年次維持費加金八千円）、特別壇（小型区画）一基百万円以上（下段のみ九十万円）以上、年次維持費加金五千円です。お問い合わせは担当北村まで。